

平成 30 年度 体協ニュース

No.	30-⑩
行事名	板橋区民ハイキング
会 場	茨城県～関東ふれあいの道筑波山～
日 時	平成 30 年 11 月 15 日(木)
主 催	公益財団法人 板橋区体育協会

板橋区立グリーンホール前、集合・出発 6 時 30 分、参加者 37 名、随員 7 名総勢 44 名で予定通りバスが出発しました。好天にも恵まれ、バスは、常磐道土浦北 IC から国道 125 号線であつた丘駐車場に予定通り 9 時に到着し、体操を済ませた班から記念撮影を行い、登山を開始しました。給水・体温調整をしつつ、弁慶茶屋跡の白雲橋コースで僅かでしたが紅葉を見ることができ、「弁慶七戻り」「高天原」「胎内くぐり」「ガマ石」など、巨岩・奇岩に驚かせられながら、女体山 (877m) に登頂しました。休憩所には班ごと 11 時過ぎには到着しました。筑波山は、富士山のような火山ではありません。巨岩は、風化に強い斑れい岩です。斑れい岩の岩体には、地下から隆起したときに、押し上げる力などで大きな割れ目が生じ、このような割れ目に沿って崩れたときに取り残されたりして奇岩となっているのです。

絶景を堪能しながら、昼食をとり 11 時 40 分に出発して、男体山 (871m) に 20 分ほどで登頂し、自然研究路を一回りしながら休憩所に全員到着しました。12 時 40 分発の下りケーブルカーに乗り、紅葉を楽しみながら 8 分足らずで下山しました。

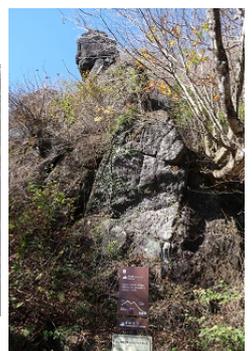
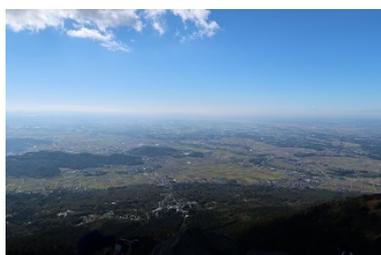
筑波山は茨城県つくば市北端にあり、筑波神社の境内地にある西側の男体山と東側の女体山からなり、茨城県のシンボルの一つです。日本百名山、日本百景の一つとされています。「西に富士、東に筑波」と称され、水郷筑波国定公園に指定されています。山頂からは、関東平野を一望することができます。この日も、霞ヶ浦、富士山、スカイツリーなど望めました。自然豊かな地域で、ここを北限・南限とする植物もあります。それを餌とする、昆虫、野鳥も種類が豊富だそうです。豊かな自然が息づく筑波山ですが、最近、山頂付近でブナの大木が枯れるなどの変化が見られるようです。涼しい気候に生育するブナは、温暖化の影響を受けやすく、温暖化の進行によってブナやブナ林の自然が失われてしまうのではと心配されています。

帰途、ケーブルカー宮脇駅近くの「筑波山ホテル青木屋」の温泉に立ち寄り、疲れをほぐしたあとホテル内でくつろぎ、参加者同士の交流もさらに深まりました。帰路は、順調で 17 時にグリーンホール前に到着しました。参加された方は、20 歳から 79 歳まで幅広い年齢層の方々でした。皆様、お疲れ様でした。

※アンケートの集計結果は後日 HP に掲載させていただきます。

※次回は、5 月に「三浦海岸」、10 月に「富士山・宝永火口」を予定しています。

(文責・写真 下野敏弘)





1班



2班



3班



4班



つつじヶ丘駐車場



ガマ石



白雲橋コースの紅葉



女体山登山道



男体山登山道



筑波山ホテル青木屋